

# 平成22年度予算 予算審査特別委員会での審議

今定例会では、議長を除く全議員で構成する特別委員会を設置し、厳しい経済状況の中での平成22年度予算編成について慎重に審議しました。

主な内容をご紹介します。

## 〈一般会計〉

### ■予算全般について

**質問：**査定段階でかなりの事業を先送りしているが根拠は。

**答弁：**財源確保が必ずかしい中で、予算総額を65億円にするために先送りしているものもあります。

**■定住促進事業について・・・45歳未満を対象として、新築一軒につき50万円の補助をする町内に支店・本店がある業者に限定。**

**質問：**町内業者に限定すると、若い建て主の意向に反するケースが多いのではないかと。

**意見：**条例の趣旨が町内居住者への支援なら、業者にこだわるべきではない。

### ■パノラマの植栽について

**質問：**プロの指導でボランテアも募り植栽してきたが、根付きが悪いのでは。

**答弁：**ボランテアでやっていただいたものを評価しながらやっていきます。

**意見：**血税を使うのだから、パノラマに責任を持ってやらせるべきではないかと。

**答弁：**現場責任者はパノラマの職員。材料は町で発注、その他はパノラマで責任を持つてやってもらいます。

**意見：**ドイツスズランを植えることについては、話し合いが不十分。

**答弁：**ドイツスズランの植栽について、有識者のなかに反対者はいませんでした。

**■通園補助廃止について・・・国が子ども手当の措置をしたので、町では母親が働き続けるための環境整備に政策転換する。**

**意見：**保育園分がカットされるのは、小中学校とのバランスが取れない。整合が取れるようにしてもらいたい。

**■介護慰労金の変更・・・1ヶ月以上介護している人に月1万円支給していたものを、6ヶ月以上介護している人に年額8万円の支給とする。**

**意見：**支給のレベルを下げないでほしい。

**答弁：**諏訪6市町村の中で低いわけではありませんが。

**■中学生の海外派遣事業・・・派遣者15名を10名・補助率70%を50%に削減する。生徒数が減り一校になったこと、他市町村の状況等から見直しをした。**

**意見：**少なくとも補助率は下げないで欲しい。

昨年度までと比べると保護者の負担が極端に増える。不公平感があるので検討して欲しい。

**答弁：**選考委員会の中で話し合います。

〈一般会計については賛成多数で可決〉

## 〈富士見財産区特別会計〉

富士見財産区管理会で決めた予算案と相違する部分を訂正した上で、**全員一致可決**しました。

## 平成22年度当初予算

| 会 計 名   |              | 本年度予算額     | 前年度比   |
|---------|--------------|------------|--------|
| 一 般 会 計 |              | 65億円       | 100.0% |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険特別会計   | 12億6,100万円 | 105.1% |
|         | 老人保健特別会計     | 9万円        | 12.4%  |
|         | 後期高齢者医療特別会計  | 1億4,974万円  | 109.2% |
|         | 有線放送電話特別会計   | 1億3,327万円  | 173.2% |
|         | 観光施設貸付事業特別会計 | 2億9,012万円  | 96.7%  |
|         | 富士見財産区特別会計   | 2,170万円    | 171.1% |
| 企業会計    | 水道事業会計       | 10億6,829万円 | 81.4%  |
|         | 下水道事業会計      | 16億4,390万円 | 82.4%  |

※水道事業会計・下水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額を計上しました。